

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

目指す学校像・・・学校生活全体を通して、さまざまな視点から生徒の好き、得意、やりたい、なりたいを引き起こし、そこから生まれる主体的な学びを支援、正解のない未来に人生を主体的に切り拓ける人間形成に資する。

本年度重点目標・・・新設する教育ベンチャー5社と共同開発した海高式探究プログラムの整備や、復活する語学研修旅行の拡充などによる横断的な学びを進める。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1)課題の解決に必要で、かつ生きる力の基礎となる、確かな学力を身につけることができる。
(2)周囲との関わりから課題を発見し、その解決に向けて自らの考えを明確に伝える表現力を身に付ける。また、収集した情報を分析し、新たな仮説を立て、論理的にまとめる力を身に付ける。
(3)学んだことを生かし、周囲の人や事柄について、さらに探究活動に積極的に取り組む。お互いを認めながら、地域・社会に貢献しようとする態度を養う。

総合的な探究の時間の学習評価

- ① 信頼される評価
キャリア探究部において、評価の観点や評価基準を確認する。
② 多面的な評価
・計画期、中間期、最終発表それぞれの段階において個人内評価を行うと共に、グループ発表を実施し、グループ内評価を行う。
・年度末の最終発表では、連携した外部協力者の方を外部評価者として招き、最終発表についての指導・講評をいただく。

生徒の実態

- ・学習面で潜在的な能力を大いに有するとともに、他者への気遣いをしながら行動することができる。
・自己の判断によって行動したり、積極的に自己主張をしたりする点において課題を有する。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

面談体制の充実
担任・副担任・教科担任・部顧問など職員全体でサポートにあたる。
教育相談の活用
スクールカウンセラーとの連携を進め、家庭との連絡を密にする。

目指す生徒の姿

- ・自ら考え、行動することができる生徒。
・豊かな人間性を持ち、円滑な人間関係を築くことができる生徒。
・自分自身に必要な学びに気づき、知的好奇心を持って主体的に学習できる生徒。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

- 個人(またはグループで)深めてみたいテーマの探究
● 地域で気になるテーマについての探究
● 世界で課題となっているテーマについての探究
のいずれかから生徒の興味・関心をもとに探究テーマを選定する。
(1) 知識及び技能
高校生として社会の中でどのようにあるべきかなどを総合的に学習していく中で、自らのよさだけでなく、社会の良さに気づく。
(2) 思考力・判断力・表現力
社会と自分自身との関わりから課題を見出し、批判的思考を持ってそれらの解決に向けての仮説を立て、情報分析を行う。説得力のある文章を作成する『文章表現力』や他者との情報の共有にも繋がる『発信力』を身に着ける。
(3) 学びに向かう力、人間性等
自分自身の考察やアイデアなどで新たな知見を創造し、地域や社会に貢献しようとする態度を育てる。

学習活動、指導方法等

- 【学習活動】
・1、2年次では、個人や地域・世界の課題に対し自ら問いや仮説を立て、収集したデータ等を考察してポスターやスライドを作成、発表する。
・3年次では、受験科目としての「情報」を中心に進路における自己実現について探究する。
・高校生として社会と関わっていく中で自分を見つめなおし、探究活動に関する興味関心を深める。
・探究の手法について教材を使って学ぶことや、外部講師による講演会などを通し、主体的に自分の進路研究に繋がられるようにする。
【指導方法】
・1、2年次では、教育ベンチャー5社と共同開発した海高式探究プログラムを展開する。
・3年次では、外部企業による専門講義を設定しながら自己実現について探究活動を行う。
・毎週金曜日にキャリア探究部会を開催し、探究活動の進捗状況や評価、指導上の課題の確認や情報共有を行う。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ◎ キャリア探究部(7名)・・・授業内容や評価等の在り方を検討
◎ キャリア探究部会・・・毎週金曜3限
◎ 各教育ベンチャー企業との打ち合わせ・・・随時
◎ 外部人材の活用・・・教育ベンチャー企業、常総市役所、企業経営者、大学研究室など